

## Ⅱ 期（一般・海外出願）

受験番号		フリガナ	
		名前	

令和2年度 春入学

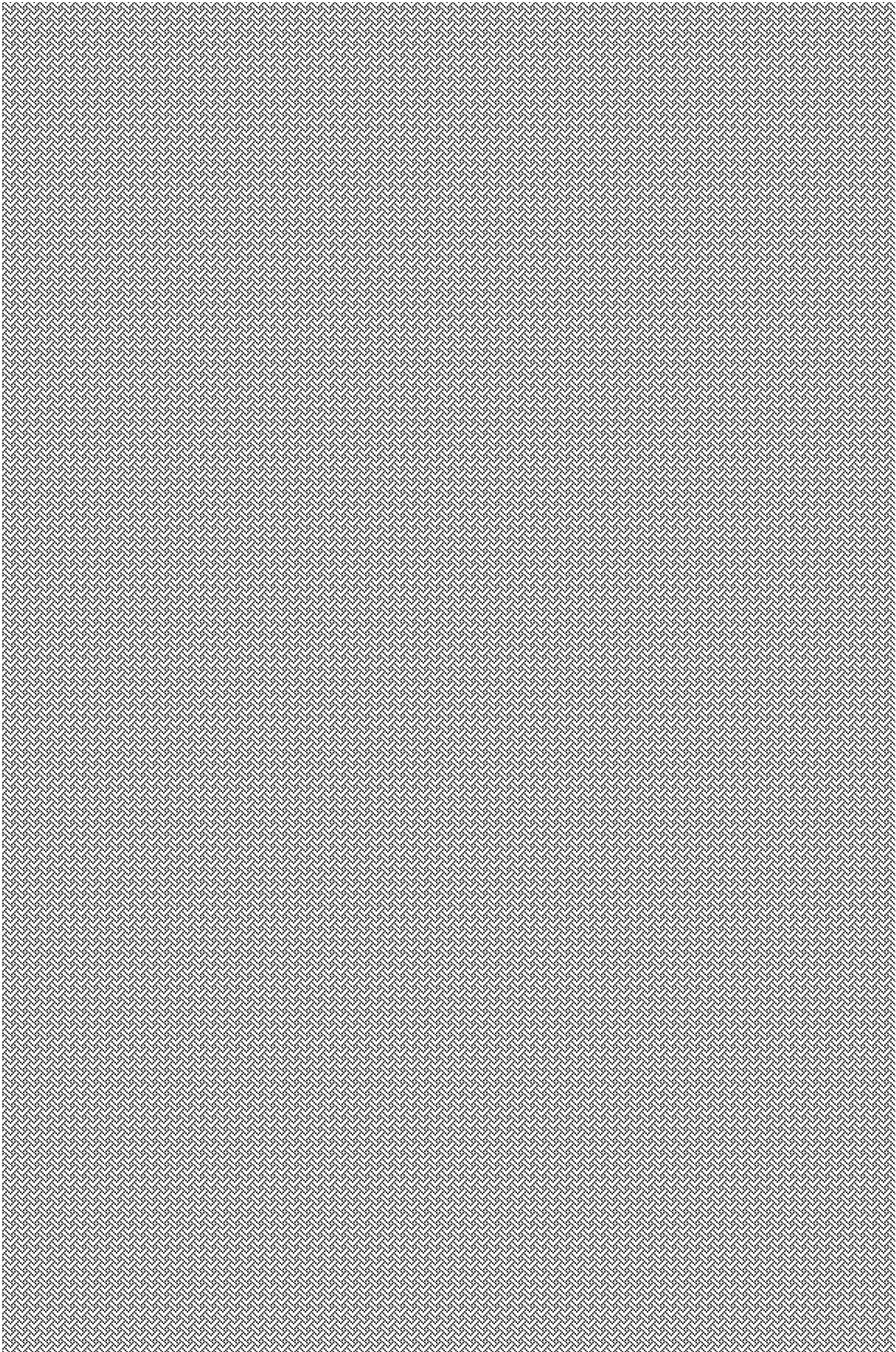
武蔵野大学大学院 言語文化研究科 言語文化専攻 ビジネス日本語コース 入学試験問題

1月 12日 実施  
<100点・90分>

### [ 小論文および日本語 ]

#### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で8ページ(余白含む)あります。問題Ⅰ～Ⅲの全ての問いに答えてください。
- 3 試験時間は90分です。途中退室はできません。
- 4 試験中に、問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明や汚れなどに気がついた場合は、速やかに手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答には、鉛筆、シャープペンシル、黒または青のボールペン、万年筆を使用してください。
- 6 修正をする場合には、解答用紙を汚さないよう、消しゴム等できれいに修正してください。
- 7 解答は全て解答用紙(B4用紙3枚)に記入してください。
- 8 この問題冊子と解答用紙の両方に、受験番号、名前(フリガナも)を丁寧に書いてください。
- 9 問題冊子の余白等は、メモなどに使用してもかまいません。
- 10 試験終了後、解答用紙(答案)のみ回収します。この問題冊子は持ち帰ってください。



問題Ⅰ 次の質問に対するあなたの考えを自由に書きなさい。

(改行等含め 800 字以内)

世界経済に関する最近のニュースを取り上げ、どのような点になぜ関心をもったのか、またあなた自身は将来どのような企業・業界でどのような人材として活躍したいと考えているか、そのために何を本学大学院で学ぼうとしているのかについて、具体的かつ詳細に述べてください。

問題Ⅱ 次の状況のとき、どのような表現で何を伝えたらよいかを考え、実際のメール文を想定して書きなさい。

(字数指定なし。ただし解答欄内に収まるように。)

あなたは株式会社有明商事の営業部に勤務しています。

武蔵野商事株式会社(担当者:田中様)宛に、1月20日15:00のアポイントメントを15:30に変更してもらいたい旨のメールを送りたいと思います。もし変更が難しい場合には、翌日の午前中、または夕方だったら調整可能ですので、それも付け加えて適切なメールの文面を作成してください。

なお、メール文に必要な他の情報(変更の理由等)は、適宜想定して加筆してください。

**問題Ⅲ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。解答はすべて解答用紙に書きなさい。**

観光客の引き起こすさまざまな問題に京都の市民が悲鳴を上げるオーバーツーリズム的状况が大きく問題化されるようになってきたのは、2015年前後からであるといわれている。しかし京都を訪れる観光客数が5000万人を突破した2008年以降、その数がピークを記録した2015年でも5600万人ほどなのである。しかも、その後は減少傾向にあって2018年には5275万人まで数字を下げている。

つまり観光客数は「いっほど増えてへん」うえに、近年ではむしろ減りつつあるのである。ではなぜ、京都のオーバーツーリズム(観光公害)は深刻化したのだろうか。

その①カラクリにおいて重要なことは「量」ではなく「質」への着目である。つまり、「どれくらいの人が京都に来ているのか？」ではなく、「どんな人が京都に来ているのか？」という視点だ。

京都における観光産業の主役だったのはもちろん日本人観光客だった。この日本人観光客が減っているのだ。例えば、お宿バブルといわれ「部屋が取れない。取れても高くて泊まれない」などといわれてきた近年の京都であるが、実は日本人宿泊数はここ数年、毎年数%ずつ減少し続けており、とくに主要ホテルの日本人宿泊者数は2018年には9.4%も減少したという。

また、2019年の7月に発表された「じゃらんリサーチセンター」による2018年度の宿泊旅行調査結果では、京都の宿泊者数は全国7位であり、「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」では5位と健闘するものの、「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」29位、「地元の人のホスピタリティを感じた」18位など、例えば8分野のうち4分野で1位を占める沖縄に比べると「日本一魅力的な観光都市」などと〔 ② 〕ものではない。さらに前年度に比較しても8分野中6分野で順位を下げているのである。

近年は日本全体で国内旅行者数が減少傾向にあるとはいえ、これらのデータや調査結果からは、「日本人の京都ばなれ」がひそかに進行しているさまを見て取ることができるかもしれない。

すっかり決まり文句となった「若者の～ばなれ」が往々にして「若者ではない人」の一面的な物事の捉え方を示すものでしかないように、「日本人の京都ばなれ」にも、③その言葉に安易に乗っかる前にその背景に目を向けることも重要である。

例えば日本人宿泊者数の低下の背景としては、「お宿バブル」を引き起こした宿不足の結果、外国人観光客と日本人観光客の間で部屋の奪い合いが起こっていることが指摘されている。気軽な国内旅行として京都を訪れようと思う日本人観光客と、一大イベントである海外旅行として京都を訪れようと思う外国人観光客では、④宿を予約するタイミングが違うのだ。

つまり「よし、はるばる日本に行くぞ！」という意気込みの外国人たちが旅行の数カ月も前に部屋を押さえてしまうため、「来月の連休、ちょっと京都でも行ってみようか」とふと思いついた日本人が宿を取ろうとホテル予約サイトを開く頃には、時すでに遅し。希望の日程と適当な予算でプランを検索してもどこも満室。「仕方ない、京都は諦めるか」と、また違う観光地の名前で検索し始めることになってしまうのである。

また日本人にとっての京都の魅力・人気の低下に関しても、京都市の発表した平成30年度「京都観光総合調査」にその背景を〔 ⑤ 〕調査結果がある。

実際に京都を訪れた日本人観光客への調査で、9割を超える人々が「京都観光に満足した」と答えている一方、「京都観光中に残念なことがあった」と答えた日本人も4割を超え、その多くが「観光客が多すぎて観光を楽しめなかった」「観光客のマナーが悪い」「いつも道路が混んでいる」な

どオーバーツーリズムに起因すると思われるものなのだ。

これはつまり満員電車の乗客の悲鳴と同じで、京都がそのキャパシティーを超えた観光客を受け入れていることへの苦情ともいえる。

ホテルの部屋数やバスの本数、また観光空間の広さなど、観光に関するさまざまなインフラ的要素との兼ね合いのなかで、どれだけの観光客を受け入れられるかという観光地のキャパシティーは有限である。

ホテルの予約合戦に負け、多すぎる観光客のために観光を楽しめない日本人観光客。そこには京都に押し寄せる外国人観光客と限られた観光インフラを奪い合い、⑥「負けて」押し出される日本人観光客という構図が見え隠れする。「日本人の京都ばなれ」というより「京都から日本人が押し出されている」というほうが実状に近いといえるだろう。

そして、日本人観光客が減り、外国人観光客が増えるというのは、京都を訪れる観光客数という「量」はそれほど変わらなくても「質」が徐々に入れ替わっていることを意味する。京都におけるオーバーツーリズムをめぐる問題は、実は単に観光客の数が増えたことによるものではなく、全体の観光客数はそれほど変わらなくても、その中身が外国人観光客に取ってかわったことで惹起しているのだ。（後略）

（中井治郎「あの京都から『日本人観光客が減った』深い理由－観光地の魅力減少させる『観光公害』のヤバさー」

東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/315491> 2019年12月26日による一部改)

問1 ①「カラクリ」のここでの意味として、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 京都の観光客数が5000万人を突破したことの直接の要因
- 2 2015年をピークに観光客数が減少したことへの分析と対策
- 3 観光客が近年ではむしろ減りつつあることの原因と仕組み
- 4 京都のオーバーツーリズム深刻化の原因分析と対応の仕方

問2 [ ② ]に入ることばとして、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 胸を張れる
- 2 我を張れる
- 3 欲を張れる
- 4 意地を張れる

問3 ③「その言葉に安易に乗っかる前にその背景に目を向けることも重要である」とはどういうことか、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 「日本人の京都ばなれ」は、「若者の～ばなれ」と同様に、外国人客が増加している京都観光に対して否定的に思っている人の気持ちも考えることが重要だということ
- 2 「日本人の京都ばなれ」は、観光地としてはあまりにも有名になりすぎた京都が、日本人にとってはもはや魅力的でなくなっている事実気づくことが重要だということ
- 3 「日本人の京都ばなれ」は、京都が日本人には人気なくなってきたがために、外国人観光客を積極的に受け入れざるをえなくなった事実を認識することが重要だということ
- 4 「日本人の京都ばなれ」は、単に外国人観光客が増えて日本人が京都に行かなくなったという字義通りの意味で捉えるのではなく、その原因を探ることが重要だということ

問4 ④「宿を予約するタイミングが違う」のはなぜか、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 京都には世界各国から観光客が来るため、国によって予約の期間が異なるから
- 2 気軽な国内旅行に比べて、海外旅行はもっと前に宿を予約することが普通だから
- 3 ホテルの予約サイトは、個人の予約と旅行会社の予約ではシステムが違うから
- 4 日本人観光客と外国人観光客では、宿予約の仕方に文化差があるのも当然だから

問5 [ ⑤ ]に入ることばとして、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 あなどらせる      2 かんぐらせる      3 うかがわせる      4 あじわわせる

問6 ⑥「『負けて』押し出される日本人観光客」とはどういうことか、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 有限の観光インフラの中で、常に外国人観光客とバトルし続けなくてはならない日本人観光客が疲弊してしまっているということ
- 2 宿泊の予約もできず限られた観光インフラの中で満足感が得られない日本人観光客が、結果として京都を選択しなくなっているということ
- 3 押し寄せる海外観光客の数があまりにも多く、日本人観光客だけでは数の上で勝てるはずもないために京都を訪れられなくなるということ
- 4 京都に行きたいという日本人が多いのにも関わらず、観光インフラが次第に外国人観光客向けになってしまってきているということ

問7 この文章の内容と合っているものはどれか、最も適当なものを1～4よりひとつ選びなさい。

- 1 京都を訪れる観光客数は全体としては右肩上がりでも推移しているが、日本人観光客に限って言えば年々その数が減少してきている。
- 2 かつて京都の観光産業の主役だった日本人観光客はいまや外国人観光客に押されているが、それは京都自体の魅力の変化によるところが大きい。
- 3 京都は「お宿バブル」に代表されるように観光インフラが整備されておらず、そのせいで海外からの観光客の足が遠のいてしまっている。
- 4 京都のオーバーツーリズムについては観光インフラの問題もあるが、どのような人々が観光客として来日しているのかにも目を向ける必要がある。

問8 本文で述べられていることを、なるべく文中のことばを使って 300 字程度で要約しなさい。

【以下余白】

※ メモに使用してもかまいません。









問題Ⅲ 解答は以下の □, およびマスの中に書きなさい。

問 1

問 2

問 3

問 4

問 5

問 6

問 7

問 8

横書き →


100  
200  
300

■解答例および配点

令和2年度 春入学

武蔵野大学大学院 言語文化研究科 言語文化専攻 ビジネス日本語コース 入学試験解答用紙

[小論文および日本語]

評 点
100点満点

問題Ⅰ 解答は以下のマスに従って書きなさい。(50点)

※採点基準:減点法(誤字脱字, 構成力, 説得力, 情報収集力等)

問題Ⅱ 解答は  の中に書きなさい。(10点)

件名	
宛先	変更の理由と謝罪, こちらの意向と状況伺い
挨拶, 名乗り	挨拶
	署名

問題Ⅲ 解答は以下の , およびマスの中に書きなさい。(問1~8:各5点=計40点)

問1

問2

問3

問4

問5

問6

問7

問8

京都でもオーバーツーリズムが指摘されているが、重要なことは「量」ではなく「質」への着目である。  
かつて京都における観光産業の主役だった日本人観光客が減っているのは、単に「日本人の京都ばなれ」が進行しているだけではないため、その背景に目を向ける必要もあるのだ。  
観光に関するさまざまなインフラ的要素との兼ね合いのなかで、どれだけの観光客を受け入れられるかという観光地のキャパシティを京都はすでに超えてしまった。  
その結果「京都から日本人が押し出されている」という実状が起きている。  
そして、それにより、京都を訪れる観光客数という「量」はそれほど変わらなくても「質」が徐々に入れ替わっており、京都におけるオーバーツーリズムをめぐる問題が惹起している。(320字)